

活動報告

<p>団体名</p>	<p>くまもと発達支援親の会「めだか」</p>
<p>活動名</p>	<p>被災地の障がいを持つ子供（者）とその家族のための災害後の支援活動</p>
<p>活動期間</p>	<p>2016年10月～2017年4月</p>
<p>活動の成果</p>	<p>熊本地震直後から、長期間に渡って自宅等で生活できない状況が続いた。健常者においても環境の違いで体調を崩す人が多く出てくる中で、障がいを持った子ども（以下対象者）とその家族は避難所に入ることも難しく、より厳しい状況が発生した。平素より、環境に対する適応に困難を抱えている対象者に、災害時等に備えて、生活における様々な対応方法を事前に学習する機会を作る必要性やストレスや不安を解消する必要性を感じたため、下記の内容、目的を中心に取り組みを実施した。</p> <p>①デイキャンプ：屋外での非常食の作り方・感染防止対策・災害時の避難具確認・対象者の支援方法や対応を専門家による相談の場を設定。</p> <p>②クリスマス会：震災発生以降、ストレスある環境での生活や、震災の記憶が残っている対象者に、感覚統合や、スヌーズレン等を行うことでストレスや地震に対する不安を軽減させる。他団体の方々の参加により、対象者や保護者の気持ちの共有をはかる。専門家による相談。</p> <p>③お疲れ様会：参加しやすいゲームなどを実施・対象者やその家族の状況を確認し、連絡手段の確認や相談しやすい環境作り。災害に備え防災頭巾を配布し、福祉避難所の一覧を紹介・緊急時の伝達方法について協議。</p>
<p>寄付者へのメッセージ</p>	<p>熊本地震直後から、長期間に渡って自宅等で生活できない厳しい状況がしばらく続きました。健常者でも環境の違いで体調を崩す人が多く出てくる中で、対象者達は避難所に入ることも難しく、より厳しい状況でした。</p> <p>震災後の特殊な環境で、適応に困難さがあった対象者に、デイキャンプやお疲れ様会を通して、災害時等に備えて、生活における様々な対応方法を事前に学習する機会を作りました。また、クリスマス会では楽しい時間を作ることで、震災のストレスを少しでも軽減することが出来ました。加えて、対象者やその保護者等の相談の場を作り、ストレスや不安を解消し、これから安心して過ごせるように対処できたと思います。</p> <p>会においても、緊急時の連絡方法を作ることで、災害時に対象者とその家族が孤立化することを解消したいと思います。また、行政などに災害時の要望などをしていくことで、今後発達障がい者やその家族が災害時に困らないように、災害時の対応の整備ができるよう取り組みを進めるきっかけになりました。</p> <p>支援を受けたことで、災害後の不安を軽減し、いざという時に備えることが出来ました。また、他の団体などと連携し、活動を広げることが出来、会の存在意義を再確認することが出来ました。これを機に、さらに活動の場を拡大し、困難を抱える人達に少しでも関わっていくことで、安心した生活を取り戻したいと思えます。ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

